

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県恵那市 市立恵那病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者（代行制）	20	対象	ド訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
51,667	30,063	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

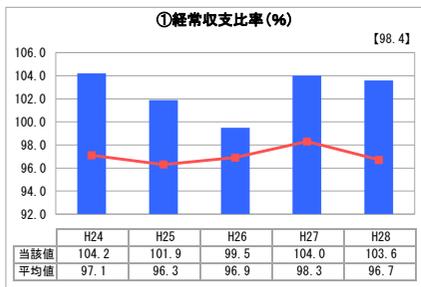
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
186	-	186

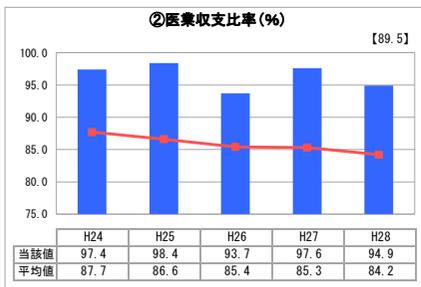
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

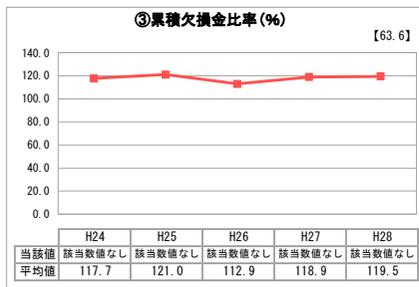
## 1. 経営の健全性・効率性



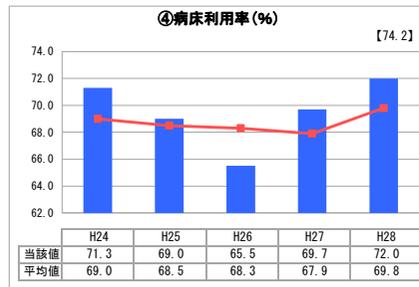
「経常損益」



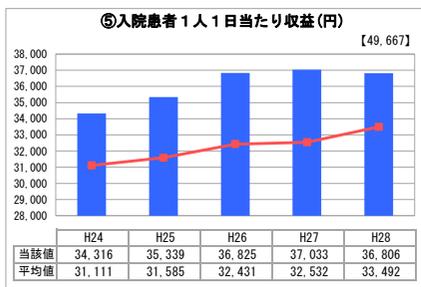
「医業損益」



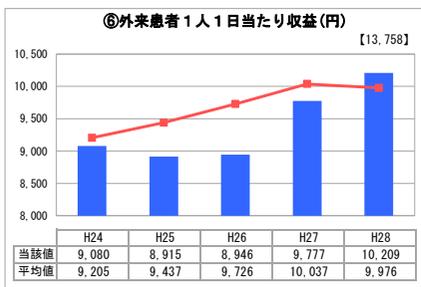
「累積欠損」



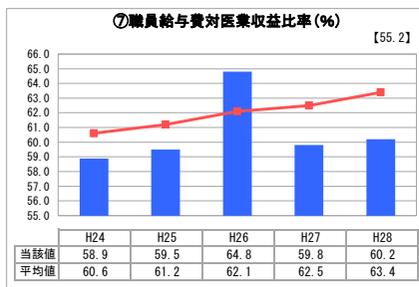
「施設の効率性」



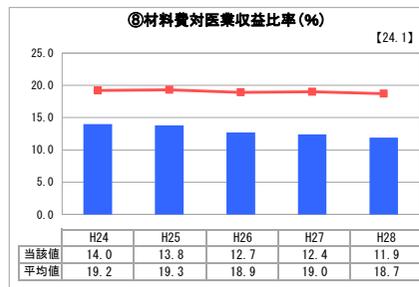
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

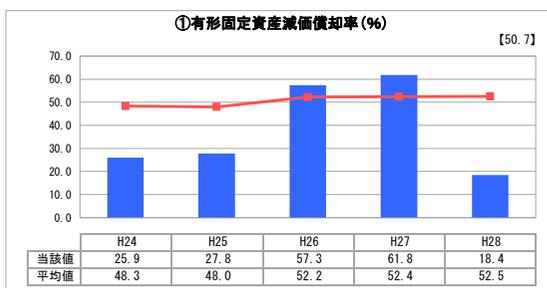


「費用の効率性①」

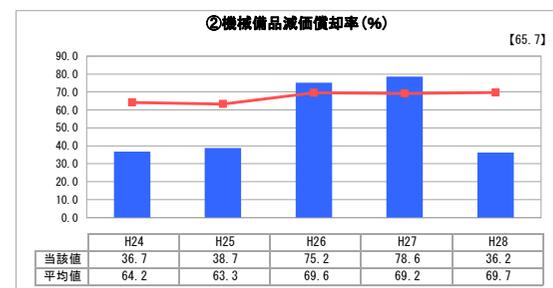


「費用の効率性②」

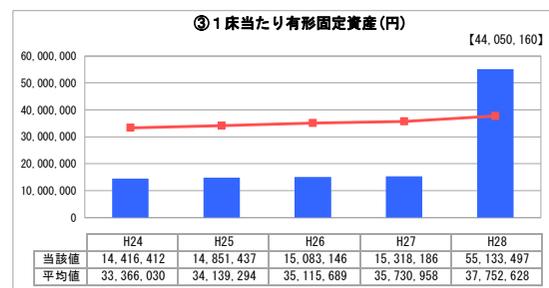
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

○救急医療の提供 重症患者の救急搬送受入。休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入。  
 ○へき地における医療の提供 へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等の派遣。  
 ○小児医療の提供 恵那市で唯一の小児入院機能を有する専門医療機関。  
 ○地域医療を担う人材育成 臨床研修医協力施設として研修医、看護学生、医療技術学生の研修受入指導の実施。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率 単年度収支は、黒字を確保している。また、施設更新等に充てる資金も確保できている。  
 ○医業収支比率 病院の医業活動の費用に対する医業収益の割合は、類似病院平均値を上回っている。  
 ○病床利用率 類似病院平均値は概ね上回っているが、新公立病院改革ガイドラインの3年連続70%未満を辛うじて達成している状況である。  
 ○入院・外来患者1人1日あたり収益 当年度は入院・外来ともに、類似病院平均値を上回ることができたため、引き続き維持できるよう努めたい。  
 ○職員給与費・材料費対医業収益比率 医業収益中の職員給与費・薬品等材料費の占める割合は、類似病院平均を下回っているため、引き続き適正な職員配置・薬品の購入に努める。

### 2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率・機械備品減価償却率 平成28年11月の新病院完成及びそれに伴う機器の更新を行ったため、資産の帳簿価格が増加したことにより、当該数値が大幅に減少している。  
 ○1床当たり有形固定資産 平成28年度に新病院建築工事が完了したため、固定資産額が増額し、当該数値の増加となった。

## 全体総括

○病床利用率は、なかなか70%を超えることができなかったが、平成27年度末で結核病床を一般病床化したことにより、平成28年度は病床利用率が上昇しており、このまま維持していきたい。  
 ○平成28年11月に新病院が開院し、最新の医療機器を導入したことで、より高度で新たな治療が行えるようになったこと、平成29年4月から産婦人科を設置することにより、外来患者・入院患者の増加が見込まれるが、利用の推移が把握できないため、状況を検証しながら健全な運営を行ってきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。